

# 周船寺

## 地域のみどころ

JR周船寺駅を起点に古墳探訪が気軽に楽しめます。飯氏二塚古墳から今宿青木の鋤崎古墳までは、多数の前方後円墳があり、古墳時代の首長墓の系譜をたどることができます。途中、近世福岡藩の農学者宮崎安貞の書斎・墓もあります。



今津湾

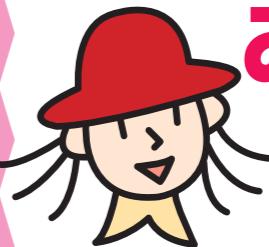
# いまじゅく すせんじ 今宿・周船寺マップ

- 昭和バス
- 西鉄バス
- 今宿姪浜乗合バス
- 糸島コミュニティバス



至姪浜

## 今宿 地域のみどころ



JR今宿駅を起点に歴史散策が楽しめます。

今津湾に沿って元寇防墾から今山に向かって歩くコース、叶岳・高祖山に向かって歩くコース、周船寺に向かって古墳を訪ねるコースなど工夫されたといいでしょう。

今山や叶嶽神社からは糸島平野と今津湾を見渡すすばらしい景観を楽しむことができます。

叶岳に行くには、姪浜駅(今宿駅経由)～今宿野外活動センターを結ぶバスを利用すると便利です。

[問い合わせ先] 姪浜タクシー(092)-885-7714

高祖山山頂  
(416.1m)

↓今宿野外活動センター

↓▲叶岳山頂(341m)



# 周船寺

# 今宿・周船寺 みどりこころ案内

## 1 伊観神社

もとは、主船司神社という。創建の時期は不明。

江戸時代前期の神社名は、松の木天子社で、その後松木天神となり、伊観神社となつたといわれる。

周船寺という地名は、一説によると、奈良時代大宰府政府の時代に、舟を司る役所（主船司）があつたことに由来するといわれている。



## 3 山の鼻1号墳

4世紀前半の前方後円墳で墳長は44m。今宿平野の首長墓の系譜で最古に位置付けられる。現在は山ノ鼻古墳公園として整備されている。（国指定史跡）



## 6 飯石神社

創建の時期は不明。平安初期に祭事が行われたと記録に残る。敷地内には福岡市指定の保存樹である楠・ムク・銀杏などの巨木が十数本あり、古色蒼然の雰囲気がある。



## 9 三所神社

高祖宮、飯石宮、馬場宮をあわせて三所とされる。

神社の裏には、千里の飛び石がある。

「高麗より千里の遠きを経て來たりしにより、この名あり」「除夜のおり、空中鳴動し、この石現る」と記録に残る。千里も遠くから飛んできたので、地名も千里になったといわれる。



## 4 若八幡宮古墳

4世紀後半の前方後円墳。墳長47m。神社の背後の丘陵上に後円部を中心とした墳丘が残る。（国指定史跡）



## 5 宮崎安貞の書斎・墓(1623~1697)

安芸の広島で生まれ、25歳で福岡藩に仕えた。30歳で藩を退き、各地を歩いて農業技術を学んだ。その後女原村に住み、農業の実践・研究・指導に専念した。安貞の「農業全書10巻」は、この書斎で書かれ、元禄10年(1697)完成した。



## 7 兜塚古墳

## 8 飯氏二塚古墳

6世紀初めの前方後円墳。墳長は48m。後円部中央の横穴式石室には馬具等の副葬品もあつた。

（国指定史跡）



## 9 亀井少槻(1798~1857)

福岡藩の儒学者亀井南冥の孫娘。昭陽を父とし、現在の西区姪浜で生まれる。書・漢詩や絵画に秀でた才女として有名。（写真：於多福図）

結婚後、今宿（二宮神社横）に住み、塾を開き、子どもたちに書を教えた。

能古博物館には、筑前亀井学派の資料が多く展示されている。



## 10 宇多神社

宇多天皇（9世紀頃）をまつた神社とされるが、宇田川原と宇多天皇の結びつきは不明。元旦には、宇田川原豊年獅子舞（市指定無形民俗文化財）が奉納される。これは享保の大飢饉ののち、豊作を祈ることから始まったもの。



## 1 今山遺跡

今山は高さ84m。山頂や山麓部の玄武岩を用いた弥生時代の初期から中期の大型石斧製作所跡。製作された石斧は、伊都国の交易品として、北部九州に広く流通していた。

（国指定史跡）

海側では古墳時代、製塩が行われ、平安時代には港湾施設があつたといわれている。

神社から少し登った東展望台からは、今津湾が、

西展望台からは、今宿平野が展望できる。



## 2 熊野神社

今山の中腹にある。神社を包む山のあちこちに、馬頭観音・大師堂・薬師堂などがあり、頂上には巨大な玄武岩を背にした八大龍王がまつられている。

神社から少し登った東展望台からは、今津湾が、西展望台からは、今宿平野が展望できる。



## 3 二宮神社

正徳年間（1711～1715）現在の今宿小学校付近から移されたといわれる。正月3日には、子どもたちの玉せせりが町の各家をまわり、7月29日には夏越祭が催される。

## 4 元寇防墺

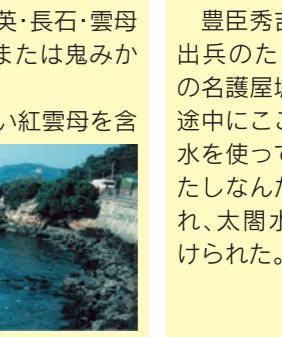
今津から香椎までの20kmの防墺は、文永の役（1274年）の後、九州各國が分担して築いた。横浜から長垂（青木）の2kmは、豊前（福岡県東部から大分県）が担当したもの。（国指定史跡）

## 5 長垂の名紅雲母ペグマタイト岩脈

ペグマタイトは、主として石英・長石・雲母からなる火成岩で巨晶花崗岩または鬼みかげともいう。当ペグマタイト岩脈は、珍しい紅雲母を含んでいるが、旧陸軍の採掘により、現在は美しい紫紅色を見るることは難しい。（国指定天然記念物）

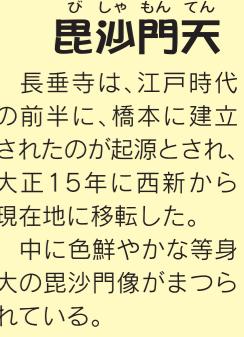
## 6 太閤水

豊臣秀吉が朝鮮出兵のため、肥前の名護屋城に行く途中にここにわき水を使って茶湯をたしなんだといわれ、太閤水と名付けられた。



## 7 長垂寺の毘沙門天

長垂寺は、江戸時代の前半に、橋本に建立されたのが起源とされ、大正15年に西新から現在地に移転した。中に色鮮やかな等身大の毘沙門像がまつらされている。



## 8 今宿五郎江遺跡

弥生時代の後期の環濠集落跡。現在は今宿小学校の敷地で当時の姿は見られない。漁具や農具などの木製品、石錘や紡錘車などの石製品とともに小銅鐸が発見された。

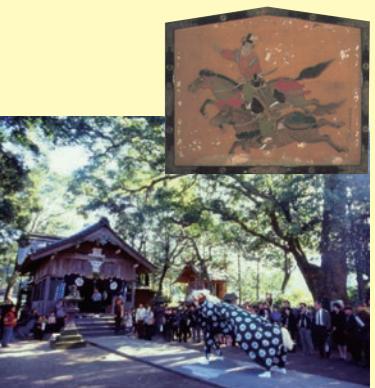
## 9 今宿大塚古墳

6世紀前半の前方後円墳。墳長64m。墳丘、周濠、外堤の規模と整然とした姿は、北部九州屈指のもの。（国指定史跡）



## 10 鋤崎古墳

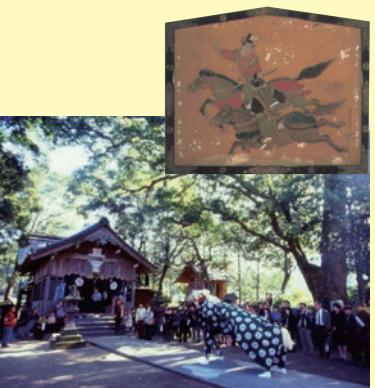
4世紀末から5世紀初頭の前方後円墳で、墳長62m。今宿古墳群の首長墓に位置付けられ、横穴式石室をもつ初期の古墳。石室や出土品のレプリカが市博物館に展示されている。（国指定史跡）



## 12 八雲神社

神社所蔵の若武者絵馬（写真）は、福岡藩四代藩主黒田綱政が元禄14年（1701）に奉納したもので狩野昌運の作。市指定有形民俗文化財で市博物館に保管されている。

正月元旦に奉納される今宿青木の獅子舞（写真）は、市指定無形民俗文化財。



## 13 叶嶽神社(遙拝所)



叶岳登山口を10分ほどあがると、遙拝所がある。本殿は、山の頂上。約600年前に上の原の豪族、吉住因幡守忠親が、建立したと伝えられる。昔の名称は天狗山で、その後神功皇后伝説から、願いが叶うという意味で叶が嶽（岳）と呼ぶようになった。



- 飲え人地蔵堂
- 横町・徳正寺の地蔵
- 上町・觀音堂
- 上の原・六地蔵（写真）
- 三界万靈塔